

吉敷地区地域づくり活動計画(H24～29年度)
第2次吉敷地区地域福祉活動計画(H25～29年度)

推進項目	事業名	事業内容	事業実施			主な推進団体	第1次活動計画 進捗状況・実績	第1次活動計画の実績に対する 課題の解決方法	今後の取り組み内容
			H26 度	実施	H27～				
地域振興	1 地域情報発信事業	① ホームページによる情報発信 ② 広報誌による情報発信 ③ メールによる情報発信	新規	→	○	事務局 広報委員会	地域づくり広報誌を少なくとも年1回発行するように編集組織などを設置すべき。	広報委員会の設立、簡単なホームページ更新を模索。 ホームページの告知回数を増やす。	「ふるさとだよりよしき」に加え、地域づくり協議会の活動を広報・周知するための広報委員会を27年度に新たに設置する
	2 地域ふれあい標語の募集・啓発	① テーマにふさわしい標語募集 ② 1年間広報誌に掲載する標語の募集と活用		→	○	事務局	ふるさとまつりに合わせて実施しているが、毎年申込者が少ないため、募集方法を検討する必要がある。		これまで選ばれた標語の認知度や活用方法、募集のあり方などを検討する必要がある
	3 成人式思い出づくり支援事業	① 地区内の新成人をお祝いする。		→	○	事務局	成人式の写真に写真枠を付け贈呈。		
	4 人権推進活動の推進	① 小中学校との連携による講演会開催 ② 児童生徒の作品募集及び表彰		→	○	地区人権学習推進協議会	良城小や鴻南中が実施する人権講演会に対する補助などは一定の成果を挙げている。		
	5 交流事業	① テーマに沿って、誰でもが参加できる交流活動を企画するとともに、地域活動室を活用促進する。	新規	→	×	事務局 各種協議会	地区住民交流のための活動室の整備。		
	6 ふれあいあいさつ運動 (P. 6、7)	① あいさつ標語プレートづくり ② あいさつ帽子・チーフを付けて思い思いにウォーキング ③ ウォーキング大会の開催 ④ あいさつ声かけ運動の展開 ⑤ 地域教育ネット推進協議会との連携	新規	→	○	地区青少年健全育成協議会 地区体育振興会	帽子・チーフは年平均200個作成し、活用方法、その意味の説明をし配布していたが、継続し活用された様子が見受けられない	あいさつ道路(通学路とタイアップ等)の検討、標識・看板の作成(例:吉敷川両サイド) あいさつ道路をウォーキング大会へ(実現できる計画) 帽子・チーフの繰り返しの広報、各種団体での周知 行事等参加時には必ず付ける。	26年度に20～50代の交流を目的に「食」をテーマに新たな講座を開催したところであり、27年度以降も継続する予定。 標語の啓発、活用の推進 あいさつ帽子、チーフの活用目的の周知 " "

推進項目	事業名	事業内容	事業実施			主な推進団体	第1次活動計画 進捗状況・実績	第1次活動計画の実績に対する 課題の解決方法	今後の取り組み内容
			H26 度	実施	H27～				
地域福祉	1 青少年健全育成事業	① 地区青少年健全育成協議会組織の改編 ② 各種団体との連携による活動		→	×	地区青少年健全育成脅威協議会 鴻南中学校区地域協育ネット推進協議会	部会の発展的解消に付き、地区青少年健全育成協議会組織の再改編の必要あり。 地域協育ネット推進協によるあいさつカレンダー作成		協議会として活動が可能な組織の立て直し
	2 ふれあいウォーキング (P. 6、7)	① ウォーキングプランの選定と計画 ② 地区内への広報 ③ 鳳凰山ウォーキング		→	○	子ども会 老人クラブ 地区体育振興会	ホームページによる花見コースの紹介 地区住民が各々実施 子ども会登山(共催事業)に地区住民が参加	(史跡めぐりコース、ホテル見コース、偉人コース etc.) 標識、看板の作成と設置 吉敷川の右岸左岸、木崎川沿いの道の整備 (コース整備のための草刈りなど) 毎日実行すること(帽子・チーフ・あいさつ)によるふれあいを図る	コースの内容の検討 コースの決定 ウォーキング大会の開催
	3 ふれあいスポーツ交流事業	① 大運動会、多世代交流グラウンドゴルフ大会 ② 地区親睦ゴルフ大会		→	○	各実行委員会	GG:3回目を開催。 G:予算の精査が必要。		H28大運動会:「地区体振会」に委託する方向で検討。
	4 子育て支援事業	① つどいの広場運営の支援		→	○	自治会 地域交流センター	広報促進		広場の円滑な運営の支援
	5 学童保育支援事業	① (もみじ学級)要支援児の対応		→	○	地区社会福祉協議会	運営体制の充実 (運営協議会の見直しを実施)		円滑な運営のための受け入れ体制の整備
	6 スポーツ少年団支援事業	① 地区内活動団体運営の支援		→	○	個性創出事業 (団体支援)へ	地区大運動会への参加促進 夏まつり、ふるさとまつりの運営協力	個性創出事業へ	青少年育成のための活動団体への活動支援

推進項目	事業名	事業内容	事業実施			主な推進団体	第1次活動計画 進捗状況・実績	第1次活動計画の実績に対する 課題の解決方法	今後の取り組み内容
			H26 度	実施	H27～				
安心・安全	1 自主防災組織づくり (P. 10、11)	① 防災先進地視察 ② 防災キャンプの実施 ③ 防災講演会の開催 ④ 必要備品の整備 ⑤ 防災グッズの整備・自己点検 ⑥ 火災警報器設置意識の周知徹底 ⑦ 避難場所・避難経路の確認・看板設置 ⑧ 町内単位の隣近所助け合い方針の検討 ⑨ 地域防災計画・防災訓練・点検組織づくり		→	○	自主防災特別委員会(特別委員会) 地区社会福祉協議会	毎年実施(H24:周南地区 H25:佐山地区 H26:) 地区全体の組織体制が見えない中での備品購入は次期尚早 防災グッズの指摘のみ 設置義務啓発により約半数の家庭で設置 警報発令時、市の指定場所への避難 見守り研修での情報の共有化はできつつある	地区全体の組織立ち上げ後、優先順位で決められた備品の整備 実際のアクションの必要性 高齢者宅設置の強化 自主避難の場合単位町内の集会所になっている どこの状況をみて避難するか？ 情報交換の必要性	先進地視察に出向き、防災組織立ち上げについて話を聞く 災害時、避難所での疑似体験を経験する 防災組織立ち上げのための講演会の開催 クイズ形式の点検表による整備の啓発 警報機器設置の有無の確認と設置の啓発 町内会ごとの研修の強化 " "
	2 子どもの見守り活動	① セーフティネットワークの強化 ② 青少協との連携による夜間巡回の強化 ③ 子ども110番の家の強化		→	○	地区青少年健全育成協議会 鴻南中学校区地域協育ネット推進協議会	夜間巡回(H26.7月～8月 10回実施) H26年度新規 0本、交換21本 計 64本	子どもの登下校の見守りの強化	セーフティネットワークのあり方、契約業者などの精査必要。 夏休み中の子ども達の見守りと犯罪防止 110番の家の開発と広報。及び新110番の旗の作成
	3 交通安全標語の募集・啓発 高齢者の見守り活動 (P. 10、11)	① ドライバー向け標語 ① 小地区見守り研修会の開催 ② ふれあい給食の実施 ③ 路地の隅まで見守り活動	新規	→	○	地区交通安全防犯対策協議会 地区社会福祉協議会	新規事業(良城小学校5年生に標語を募り実施) H26年度には、地区独自での研修会を開催し、個人情報共有化がなされた 毎月1回配食による見守りをしている(対象60戸)	交通安全の遵守に効果があると思われるため継続 75才以上の1人暮らしと昼間独居の高齢者の把握 配食される人の見直し 隣・近所の見守りの必要性 「ふれあい・あいさつ」による「お隣さんの底力」	自治会・地区社協との連携による研修会の開催 配食による見守り活動の強化 セーフティネットワークによる地域全体での見守り
	4 高齢者の援助活動	① 高齢者の支援や援助の実施		済	○	地区社会福祉協議会	H26.5月に老人クラブと共催により「詐欺対策講演会」を開催	高齢者の困っていること(例:買い物、ごみ出し etc.)の援助	平成27年度以降も「詐欺対策講演」を継続実施予定
	5 カーブミラーの充実	① カーブミラー設置補助・交通安全の啓発		済	○	自治会	H26年度実績 3件 総計 件		町内会の眺望の取りまとめによる設置の継続

推進項目	事業名	事業内容	事業実施			主な推進団体	第1次活動計画 進捗状況・実績	第1次活動計画の実績に対する 課題の解決方法	今後の取り組み内容
			H26 度	実施	H27～				
環境づくり	1 土木工事	① 各町内会の取りまとめによる維持補修		→	○	自治会	水路、里道の舗装工事など、法定外公共物を整備。 H26年度実施 9件 計 2,471,000 円		法定外公共物の維持補修への補助
	2 ホタルが飛び交うふるさと吉敷 (P. 16、17)	① ホタルの環境にあった河川清掃 ② ホタル増殖放流事業 (小学校ホタル委員会との連携による)		→	○	自治会ホタル委員会 良城小学校	ホタルのための年数回の河川清掃実施 小学校ホタル委員会との連携によりホタル採取・増殖・放流を実施 命の大切さを覚えながら環境美化を啓発。		ホタルの増殖を通じた環境整備 " 郷土愛を感じ命の尊さを覚える ホタルが飛ぶ時期に合わせたイベントの開催
	3 環境美化事業 (P. 14、15) (花いっぱい運動)	① 地区住民の憩いの広場としての整備 (鳳翔山登山道桜の樹広場など) ② 吉敷の花一株運動を花いっぱい運動に国体と連携した花いっぱい運動の展開		→	○	自治会 環境美化連絡協議会 (26年度は花いっぱい実行委員会を設置)	年1回下草刈りの実施 花いっぱい運動への参加者が少ない 各町内子ども会花壇の整備(参加子ども会:9町内会) 国体開催年度による各種団体との交流での実施	地区住民による花壇コンクールの実施 参加者増のための工夫の必要 「花壇コンクール」に地区全体で取り組む(現在:子ども会のみ) 国体終了後の継続をどうするか？苗の配布？	よしき川沿いの土手の清掃と整備、 桜の樹広場の清掃と憩いの広場としての整備 吉敷の花「サルビア」の広報と、それに伴う苗の配付 国体時実施事業を参考にし、ねんりんピックに合わせた事業を検討
	4 クリーン大作戦 (P. 14、15)	① 環境美化への啓発 ② 吉敷全域一斉清掃日の実施 ③ 総参加の一斉清掃実施・年中行事化 ④ ペットの糞、ゴミ看板の作成		→	○	自治会 環境美化連絡協議会 (26年度は花いっぱい実行委員会を設置)	地域内正しい分別ごみ出しの実行 年1回の吉敷一斉清掃の実施(7月) 国体花いっぱい運動に合わせた一斉清掃を実施 地域アンケートに基づき課題の集約・抽出	継続 " 国体時実施事業を参考にし、ねんりんピックに合わせた事業を検討	地区住民によるカン、ビン、ゴミ拾いの実施 国体花いっぱい運動での一斉清掃の継続
	5 看板の設置(P. 12、13)	① ペットの糞防止、花壇等の説明、不法投棄		→	○	自治会	行政作成の看板を設置(枚設置)	地区で提案した看板の検討	帽子やチーフを活用した散歩での顔見知りによる抑止力

推進項目	事業名	事業内容	事業実施			主な推進団体	第1次活動計画 進捗状況・実績	第1次活動計画の実績に対する 課題の解決方法	今後の取り組み内容
			H26 度	実施	H27～				
地域個性創出	1 コミュニティ活性化事業	① コミュニティを深めるためのふれあい・交流事業		→	○	実行委員会	交流センターから遠隔地の町内の参加が少ない		よしき夏まつり:盆踊り色を出すべきか。 ふるさとまつり:夏まつり同様、参加のあり方の検討
	2 ふるさと伝承事業 (藤棚保存事業) (大学連携)	① 地区に伝わる昔話、偉人、習わし、 ② 名所旧跡、料理の伝承 ③ 吉敷地区中尾の「藤棚」保存 ④ 郷土資料の具象化、アーカイブ化		→ → → →	○ ○ ○	吉敷ふるさと文化振興委員会(特別委員会) 中尾地区自治会・事務局 事務局	吉敷地域ガイドブックの原稿調整 郷土資料の掘り起こし 修復事業終了(藤棚) 依頼事業終了(県立大学)地区住民が活用できる方法を模索。	持続的な活動が必要。ガイドブックの今後の活用方法、中期的事業目標、事業計画の明示。 地区住民に広く伝え、広く活用できる方法の検討が必要。	
	3 演劇鑑賞機会の提供	① 本物(作家、詩人、アーティスト、スポーツ選手など)を呼び、講演会を開催。	新規	→	○	地区内活動団体(PTAやおやじの会などと連携)	近くに感じる演劇を鑑賞する機会を提供するとともに、参加住民の交流を図る。	マンネリ化になりつつある子どもステーションとの共催事業を検討要。 広く地域住民が参加できるものにする対策。	
	4 各種団体支援事業	① 地区で活動する団体への支援事業		→	○	事務局 地域交流センター		楽楽楽、老人クラブ、子ども会、母子寡婦、鼓の会、食推、母推、スポ少	

推進項目	事業名	事業内容	事業実施			主な推進団体	第1次活動計画 進捗状況・実績	第1次活動計画の実績に対する 課題の解決方法	今後の取り組み内容
			H26 度	実施	H27～				
その他	1 特定外来生物駆除事業	オオキンケイギクの駆除作業	新規	→	○	環境美化連絡協議会	25年度の実証実験の経過と検証及び今後の計画		26年度車座トークを踏まえ、新たに委員会を設置し、活用について検討 県との連携で葎の駆除作業を実施
	2 元出張所・公民館跡地の活用	跡地活用(案)の意見の取りまとめ	新規		○	検討委員会(特別委員会)			
	3 地域おこしモデル事業	吉敷川葎の駆除	新規		○	検討委員会(特別委員会)			